

## 第2回 すべての女性が輝く社会づくり本部 議事要旨

日時：平成27年6月26日（金） 8:15～8:20

場所：官邸

出席者：すべての女性が輝く社会づくり本部本部長、副本部長、本部員（別紙参照）

有村女性活躍担当大臣より、「女性活躍加速のための重点方針2015（案）」について説明し、案のとおり決定した。

続いて、有村女性活躍担当大臣より、「暮らしの質」向上検討会提言と「すべての女性が輝く政策パッケージ」の主な実施状況について報告した。

最後に、安倍内閣総理大臣から以下の発言があった。

- ・女性活躍に焦点を当てた「重点方針」のとりまとめは、今回が初の試みであり、今後、毎年6月をめどに決定し、予算への反映を図っていくこととしたい。
- ・隗より始めよで、国家公務員の「女性職員登用加速化重点項目」を新たに設定し、推進するとともに、女性活躍推進法案の早期成立を目指し、その後の国を挙げての取組推進、女性の活躍に欠かせないワークライフバランスを推進する企業を公共調達でより幅広く評価する枠組みの導入、日本の将来を切り開く科学技術分野で力を発揮する女性の育成、一貫した支援などの取組を、関係閣僚が一丸となって推進していただきたい。
- ・「マタニティ・ハラスメント」等あらゆるハラスメントの根絶、ひとり親家庭や非正規雇用者への支援、公共トイレの改善などの快適な空間づくりを進める「暮らしの質」の向上など、女性活躍のための基盤となる施策を充実し、推進していただきたい。
- ・各閣僚においては、この重点方針に基づき、女性活躍を加速するための予算、制度改革等の検討を精力的に進めていただきたい。
- ・なお、政治分野での女性の活躍も大変重要な課題。各党の御協力もいただき、前に進めていきたい。

以上

## すべての女性が輝く社会づくり本部 名簿

本部長	安倍 晋三	内閣総理大臣
副本部長	菅 義偉	内閣官房長官、沖縄基地負担軽減担当
	有村 治子	女性活躍担当大臣、行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣（少子化対策、規制改革、男女共同参画）
本部長	麻生 太郎	財務大臣、内閣府特命担当大臣（金融）、デフレ脱却担当
	高市 早苗	総務大臣
	上川 陽子	法務大臣
	岸田 文雄	外務大臣
	下村 博文	文部科学大臣、教育再生担当
	塩崎 恭久	厚生労働大臣
	林 芳正	農林水産大臣
	宮沢 洋一	経済産業大臣、産業競争力担当、原子力経済被害担当、内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償・廃炉等支援機構）
	太田 昭宏	国土交通大臣、水循環政策担当
	望月 義夫	環境大臣、内閣府特命担当大臣（原子力防災）
	中谷 元	防衛大臣、安全保障法制担当
	竹下 亘	復興大臣、福島原発事故再生総括担当
	山谷 えり子	国家公安委員会委員長、拉致問題担当、海洋政策・領土問題担当、国土強靱化担当、内閣府特命担当大臣（防災）
	山口 俊一	内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、科学技術政策、宇宙政策）、情報通信技術(IT)政策担当、再チャレンジ担当、クールジャパン戦略担当
	甘利 明	経済再生担当、社会保障・税一体改革担当、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
	石破 茂	地方創生担当、内閣府特命担当大臣（国家戦略特別区域）
	遠藤 利明	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当